



お祝詞

箏曲むつみ会
会長 山本章智

この度は、根津さんの開軒30周年と絃伶会と重なった記念の演奏会が開かれ、まことに、おめでとうございます。

歳月の過ぎるのは早いもので、根津さんが、岡大で、お稽古をしていたのが、ついこの間の様に思えます。大学卒業と同時に箏曲の教師試験に合格なさいましたが、小学校の先生として、東京で就職した彼女が、岡山へ帰って箏曲の道を進まれようとは夢にも思っていませんでした。

何につけても熱心な根津さんは、「箏曲むつみ会」の幹部として活動をつづけ、めきめき上達して、お弟子も増え、あつと言う間に絃伶会を結成して演奏会を催す程になりました。其の上従来のお箏の曲だけでなく、詩吟の伴奏で作曲したり、中国の音楽家との共演もしたりと、意欲的に取り組んでおられました。

平成4年に鎌倉に移されましたが、小坂さん、原田さん等お弟子さん達の力によって、この記念演奏会を催す事が出来、本当に喜ばしい事でございます。

この演奏会のご成功と、日本古来の音楽であります箏曲愛好者の輪が広がります様念じてお祝いのことばとさせていただきます。



ご祝辞

中国の名詩を詩う会
主宰 佐藤敏彦

絃伶会20周年、根津章伶開軒30周年記念、「第4回絃伶会演奏会」のご盛会を、心からお慶び申し上げます。

根津章伶さんには、一昨々年の秋以来、毎年、春・夏・秋のリサイタル、無料練習会、漢詩を楽しく詩う会、意識・般若心経朗詠の会等、「中国の名詩を詩う会」が主催する全ての演奏会に出演していただき、毎回明るく冴えて響き渡る琴の音色で会場を盛り上げていただいております。

鎌倉での根津さんは、私の会の会員から頼られ、多くの鎌倉市民に親しまれながら、天性の才能を発揮されていることと確信致しております。

地元から遠く離れた鎌倉にお住まいになりながら、会員の指導を続け、更にこの様な立派な演奏会を開催されます事は、地元の方々のなみなみならぬご熱意が無ければ絶対に出来ない事と思いますが、これを成し遂げられた根津さんの偉大なご仁徳に深く敬意を表します。

この度は、日頃からお世話に成っております御恩に報いようと、会員の有志と共に遠路鎌倉から馳せ参じましたが、会を盛り上げるために、お役に立つことが出来れば幸いに思っております。

今後、更に絃伶会が発展されますよう心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



演奏会に寄せて

中国琵琶演奏家 楊 宝 元

1985年の夏、北京の友人宅で始めて根津さんにお会いしました。その際、中国音楽学院大学の先生も何人かいて、一緒に話したり（その時、彼女は確かに正しい中国語で話していたように思いますが、今は…?）、演奏したりしたことが、とても楽しい思い出です。

その年の秋、私は留学のため日本に来ました。根津さんはしばしば中国楽器のグループの演奏会を企画してくださって、中日音楽の交流が深まりました。

中国楽器と共に根津さんが日本の箏で演奏する「二泉映月」「春江花月夜」を聴いて、東洋音楽共通の調和というものを感じました。人によって音楽の解釈は異なるのですが、それを超越して新しい音楽が出来上がった時は、演奏者にとっても、聴く者にとっても価値があり、それは大きな喜びです。

根津さんはきわめて誠実で、やさしい心の持ち主ですが、その人柄が自然に音楽の中に流れて、人の心をなごませるのが素晴らしいとおもいます。

このたびの絃伶会20周年、根津さんの30周年記念で一緒に演奏できることは、私にとって、とても嬉しいことです。益々のご活躍を心よりお祈りいたします。と同時に今後の素晴らしい音楽世界の創造に大きな期待を寄せています。



ごあいさつ

AMDA

代表 菅 波 茂

風薫る好季節に、記念の演奏会開催、絃伶会の皆様、根津先輩、大変おめでとうございます。（根津さんは岡山大学邦楽部の1年先輩です。ちなみに私は邦楽部で尺八をやっていました。）

AMDA（アジア医師連絡協議会）の源流は、昭和46年の第一次岡山大学医学部クワイ河医学踏査隊です。この踏査隊は、タイとビルマの国境にあるパコダ農場で医学調査と診療をおこないました。以後毎年医療チームを海外に派遣し続けています。

この時にアジア親善邦楽演奏キャラバンを併設して、台湾、タイ、ネパールそしてインドで演奏をおこないました。岡山大学邦楽部、岡山大学医学部邦楽部、広島大学邦楽部、そして広島女子大学邦楽部の合同チームで総勢28名、若者だけで編成し、成功した夢のような一ヶ月にわたる大遠征旅行でした。

出発に先立ち、岡山と倉敷で結団のための演奏会を実施しましたが、根津さんは他の何人かの先輩と共にこの2ヶ所の演奏会に出演、強力な助っ人の1人として支えてくださいました。おかげで我々キャラバン隊はアジア各地で演奏しても恥ずかしくないレベルに到達し、各地で大歓迎を受ける事が出来たと感謝しています。

このように、根津さんはAMDA原点の活動にかかわって以来、邦楽と共に26年間にわたって暖かく支援し続けてくださっています。

特にこのたびは、「友好の道」と題しAMDA支援チャリティーとしていただき、心からお礼を申し上げます。

これからも益々お元気で、絃伶会の皆様と共に、邦楽の発展に尽くして下さいますようお願いいたします。